

自治連だより

第4号

二〇〇八年を迎えて



鳥取市自治連合会
会長 森西辰良

会員の皆様 新年明けましておめでとうございませう

さて、年が改まり気分も一新したところですか、昨年中で自治連合会として一番の出来事は、旧八町村の住民自治組織との合併が成就し名実共に新鳥取市にふさわしい組織になったことです。

行政の合併から遅れること二年半、その間話し合いを重ねて、文化や伝統の違いを克服した結果です。

しかし自治意識に差があるのも事実で、地域の文化や伝統を活かしながら、この差を埋めて真の一体化をし、融合を図るところこそ肝要です。

今一つは、二〇〇九年に姫鳥線の鳥取自動車道の開通に合わせて、「二〇〇九鳥取・因幡の

祭典」が計画され、現在民間主導で進行していますが、この期に全国自治会連合会の大会が開催されること、ほぼ確定しています。今年は大成功のために、準備しなければなりません。北は北海道から南は鹿児島と全国から多くの方々を迎えての大会です。会員皆様の絶大なる協力を得て、立派な大会にしたいものです。

今年の課題は種々ありますが、先に挙げたものに取組みながら、まちづくり・地域づくりを進めることです。

終わりにりましたが、会員皆様のご健勝とご多幸を祈念して挨拶に代えます。

米里地区

地区における自治会活動

米里地区
会長 渡邊勤治郎

米里地区の公共施設は、集落から離れた広い農地の中央部に立地し、ことに人口の多い雲山団地からは三キロ近くも離れ路線バスの便もない等、地域活動の拠点としての利便性が悪く、行事のマンネリ化とともに次第に住民の足が遠のく中であって、世代を超えた諸行事への参加を推進し、地域に活力を喚起するための対策が喫緊の課題となってきました。

そのため、平成十五年四月の自治会組織への改編を機に、地域各種団体の代表者等による「米里地区活性化研究会」を設置し、地域の各層・各種団体の意見等を収集して自治会活動に反映させ、「活気のある地域づくり」の推進に役立てているところです。

地区納涼祭は、「町や村と同じ内容では人は集まらない」との意見を



基に、各種団体により実行委員会を組織して取り組みました。従来の大人主流の企画から、子どもや家族本位のイベント開催を検討し、音楽鑑賞をメインに据え、ブラスバンド・ジャズバンド演奏、大学生と皆で歌おう等を年々取り入れました。本の読み聞かせ、マジックショー、地域グループの演芸、子ども会の踊りで盛り上がりました。金魚すくい、輪投げ、各種バザー、花火等の運営には地区の各種団体等が全面的に協力しました。交通の確保にはバスを仕立てる等、年々参加者も増加しております。

公民館まつりは、「米里まつり」に名称を変え地区を挙げての行事にしては、との提言により子どもや家族を巻き込んで賑やかな祭りにしたなどの思いから、平成十七年より十月末の土・日を開催日としました。土曜日は、公民館の展示や周辺のイベント会場を家族づれで楽しみ、日曜日の午前は小学校を一般に開放、授業・児童作品展等を自由に参観、午後は地区や小学校の体育館、公民館広場の各種団体コーナーに分散して参加。文化・芸術作品等の展示、各種体育行事の実施、保育園児の展示やお話し会、福祉や防災コーナー、各種バザー等、三十種類にわたり展開されて賑わい、世代を超えた地区民の交流が推進されつつあります。地域には、由緒ある遺跡・社寺・伝承芸能等が数多く残っています。この貴重な財産を後世へ伝える事を考えては、との提言を契機に、一昨年、地区公民館とともに四十八枚の「米里かるた」の作成に取り組みま

した。「越路雨乞踊り」は、鎌倉時代に霊石山に逃れ来た源頼朝の時代に都から移入されたといえられ、昭和四十八年に国の「無形民族文化財」に選ばれたこと、降雨のお陰をいただいた神に対する報恩感謝の踊りである事など、全てのカルタの説明書と地図を添えて、地区家庭や学校等に八百部程度の協力をいただき、活用・保存をされています。地区でも高齢化が進み、一人暮らし家庭が増えている現状から、現役を退かれた地区有志を募りNPO法人「くらしのお手伝いよねさ」と立ち上げ、住宅・作業小屋等の修繕、草刈り、荒れた庭の整理、廃品や不用品の引取り等、活動が続けられ、好評を得ています。

「2009 鳥取・因幡の祭典」って？

2009年度に無料の高速道路「鳥取自動車道」の鳥取県側が全線開通します。そこで、四季折々に鳥取県東部地域（因幡）で行われているイベントや特有の文化、風土を全国へ紹介し、「多くの人に因幡を知っていただこう！」「多くの人に因幡を訪れていただこう！」そして、「因幡の誇る歴史や文化をゆつたりと味わっていただこう！」と考えました。

それが、「2009鳥取・因幡の祭典」です。

問合せ先 2009 鳥取・因幡の祭典 実行委員会事務局 ☎ 27-8001

活動の現状

湖山西地区
会長 大久保良隆

湖山西地区は、池としては日本一の広さを誇る湖山西の北岸に位置し、鳥取空港やJR鳥取大学前駅、また鳥取大学をはじめとする高校から幼稚園までの多くの教育施設が立地する文教国際交流地区であります。

更に、地区の西側エリアには、国立病院機構鳥取医療センター、県立の福祉人材研修センターや各種の福祉施設並びに民間の福祉関係施設が集積されて、福祉エリアを逐次形成しつつあります。

湖山町は、旧農村エリアと新興住宅エリアが混在し、鳥取大学教職員宿舎、同学生寮及び民間のワンルームマンション、アパートなどが林立した独特のまち並みが形成されています。

湖山町は、昭和四十一年（一九六六年）の鳥取大学キャンパスの統合転入以降、人口の増加が続き、昭和六十三年四月、湖山西小学校を二分割して湖山西小学校が開校されました。湖山西小学校の開校に伴い、平成三年に湖山西自治会が設立され、平成四年には湖山西地区公民館が町内会集



市民協働型トイレ棟竣工式

会施設を間借りして開設されました。平成九年四月に待望の湖山西地区公民館を含む複合施設「学習交流センター鳥取」が、平成十年四月には湖山西地区体育館が相次いで竣工し、生涯学習と地域コミュニティ活動の拠点整備が完了しました。



市民協働型トイレ棟のペイント

湖山西地区の地域活動としては、湖山西校区町民運動会（五月、湖山西小学校共催）、湖山西池を守る会による湖山西池一斉清掃（五月、七月、十月）、湖山西地区敬老会（地区社協主催）、公民館まつりへの協賛等が主なものですが、当地区独自のものとしては、NPO法人グリーンスポーツ鳥取と連携

も参加）、最近ではこのトイレ棟の周辺に、緑の募金事業による生垣用の植樹を行いました。

地域活性化の一環として、湖山西自治会もこのNPO法人の会員となりグリーンフィールドの整備や活用にも努めています。具体的な活用事例としては、周辺町内会による合同納涼祭の実施、湖山西体育会のスポーツ行事、壮年団主催のフリーマーケットまた湖山西地区公民館のふれあい事業など幅広く活用されています。

地区としては、今後のまちづくり協議会への対応等も考慮して、地域活性化に向けた有効な活用策について検討していきたいと考えています。

自治活動について

明徳地区
会長 岩本邦彦

明徳地区においては、地域の住民が明るく融和を基調とした「まちづくりの活性化」を目指し、地区公民館を活動の拠点とし、自治連地区会・各種団体・学校及び関係機関が互いに連携し、特色ある諸活動（各種の教室・研修会・講習会・趣味の講座等）を幅広く実施しているところです。

近年の少子高齢化、環境の変化等に伴い、地区内の世帯数が減少にあることに鑑み、地域住民が住みよいまちと認識をしていただくため、特色ある諸活動を実施していきたいと思っております。

地区行事の主なものとして、地区納涼祭、総合防災訓練、大運動会、文化祭を次のとおり実施しています。

1 明徳地区納涼祭 八月五日

推進 実行委員会
催物
踊り
傘踊り・しゃ
んしゃん体操
バザー・ゲーム
等各種

参加 約八百名



納涼祭

2 明徳地区総合防災訓練 八月二十六日

推進 地区自主防災会
訓練内容

・避難誘導訓練（地区町内住民）

3 明徳地区大運動会 九月九日

推進 実行委員会
種目 二十五種目
参加 約五百名

4 明徳地区文化祭 十月二十七～二十八日

推進 実行委員会
展示品 三百点
各種コーナー ミニ庭園・席画・健康相談・木目教室・ユニカール・バザー（各種）

来場 二日間で約九百名

※この文化祭に「まち・むら交流促進会議」での協働のもと、美穂地区公民館から出展のご協力をいただきました。

近年、子どもを狙った不審者の声かけ事犯等が多発していることに鑑み、防犯上の安全性から平成十八年十月に明徳小学校、明徳地区各種団体が地域住民の協力を得て「明徳子ども見守り隊」を結成しました。

①登下校の子どもの付き添い活動
②登下校時を見計らった自宅前での立哨・あいさつ活動
③自転車・自動車への防犯パトロールの表示活動

子どもが通学・地域の生活において、安全で安心できるまちづくりとして、現在百九十一名の隊員が、活動しています。

・初期消火訓練（各防災会自警団）
・一般救急講習（鳥取消防署の指導）
・炊き出し訓練（地区女性の会）

参加 約二百名

3 明徳地区大運動会
九月九日

推進 実行委員会
種目 二十五種目
参加 約五百名

4 明徳地区文化祭
十月二十七～二十八日

推進 実行委員会
展示品 三百点
各種コーナー ミニ庭園・席画・健康相談・木目教室・ユニカール・バザー（各種）

来場 二日間で約九百名

※この文化祭に「まち・むら交流促進会議」での協働のもと、美穂地区公民館から出展のご協力をいただきました。

近年、子どもを狙った不審者の声かけ事犯等が多発していることに鑑み、防犯上の安全性から平成十八年十月に明徳小学校、明徳地区各種団体が地域住民の協力を得て「明徳子ども見守り隊」を結成しました。

①登下校の子どもの付き添い活動
②登下校時を見計らった自宅前での立哨・あいさつ活動
③自転車・自動車への防犯パトロールの表示活動

子どもが通学・地域の生活において、安全で安心できるまちづくりとして、現在百九十一名の隊員が、活動しています。



運動会

鳥取市賀露西浜土地地区画整理事業

賀露に美しい町誕生【賀露西浜ニュータウン】

宅地分譲のご案内

造成工事完成

上下水道負担金不要

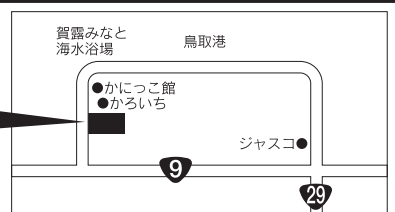
1 宅地平均面積：220㎡（66坪）

1 宅地平均単価：41,000円/㎡（135,500円/坪）

先着順受付中

お問い合わせ

鳥取市賀露西浜土地地区画整理組合
理事長 小林 増夫
☎ 0857-28-3596



三市姉妹交流会について

鳥取市自治連合会は、平成四年より姫路市連合自治会と毎年交流を続けています。また、平成十七年一月、鳥取市自治連合会は、岡山市連合町内会と姉妹交流提携を、平成十八年十二月には岡山市連合町内会と姫路市連合自治会が姉妹交流提携を結びました。このことにより、池田家が藩主を務めた三市の自治組織の姉妹縁組が成立しました。



十月三十日、岡山市において第一回の三市交流会が開催され、六十三名（鳥取市二十五名）が参加しました。各自治組織の会長のあいさつに続いて、岡山市の高谷市長よりご祝辞をいただいた後、今後の交流方針の協議及び意見交換を行いました。



意見交換会では、『自治会の未加入者対策』『自治会組織・役員関係』『地域福祉』等、自治会を取り巻く諸課題について熱心な議論が展開されました。また、意見交換後の曹源寺の視察においては、地元の町内会の方にご案内をいただき、一層の友好を深めることができました。



自治会活動の現状

中ノ郷地区

中ノ郷地区
会長 石原 明

当地区は、昭和六十年代から北園ニュータウンの開発が急速に進み、平成七年四月、装いも新たに中ノ郷小学校が開校し、自治会も城北地区より分離して新たに発足しました。地理的には、地区公民館・小学校が中心に位置しており、距離的に恵まれた地域です。現在八町内会（十五団体）で構成し、世帯数も一、一〇〇世帯を超え、地域住民の理解と協力をいただきながら交流を深め、発展を続けています。

平成十六年に十年という節目を迎え、中ノ郷地区発足十周年記念誌「中ノ郷のあゆみ」を発行しました。活動方針として◆地区公民館を拠点とした各種事業の展開◆小学校との連携を密にして、各種事業への積極的参加を重点目標に掲げ、自治会活動を進めています。特に、「納涼まつり」「じゃんしゃん祭」「敬老会」「住民大運動会」を地区の四大事業として位置づけ、関係諸団体の協力のもとに、それぞれ実行委員会を組織して、毎年多くの方に参加をいただき、新旧地区住民の交流の輪を広げています。じゃんしゃん祭では、小学五・六年生の地子連を中心とした一〇〇名余の「中ノ郷連」を結成して毎年参加していますが、小学校を始め地区の方々の絶大な協力があつたものです。

地区公民館においては、生涯学習の拠点として、地域の特徴を生かした学習活動に積極的に取り組む、サークル活動等着実にその成果を挙げています。公民館活動をおして地域との一体的な取り組みが評価され、優良公民館として、平成十七年度文

部科学大臣より表彰を受けました。また、県内外からたくさんの方々が、納涼まつりや住民運動会、敬老会など、地域のイベントで踊り継がれており、今後さらに発展させたいものです。

中ノ郷地区には古くから「麒麟獅子舞」「さいとりさし」「銭太鼓」などの伝統芸能が伝承されており、小・中学生を対象に「中ノ郷ふるさとクラブ」で熱心に取り組んでいます。「地区に伝わる伝統芸能を体験・継承を通して、地域の歴史や文化を再認識し、地域への誇りと郷土を愛する心を育て、活力ある地域づくりにつなげる」との活動方針を基に、昨年より、鳥取市の「きらめくまちづくり事業」の助成を受けて、「伝統芸能の継承と交流事業」に取り組まれました。その成果は、地域のイベントや近隣の福祉施設を訪問して披露し、大変好評を得ています。また、昨年鳥取市で開催された「全国獅子舞フェスティバル」に参加して交流を深め、七月に東京で開催された「第八回全国子ども民俗芸能発表会」には中・四国ブロック代表として出演し、「麒麟獅子舞」「さいとりさし」の伝統芸能を披露して好評を得ました。各町内を回って実施した「子ども御輿パレード」も大変好評であり、地域の活性化のための一役を担っています。

当地区は、今後さらに世帯の増加が見込まれることから、地区公民館を活動の拠点として、地域住民の参画・連携によって、地域が一体となるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。



子ども御輿パレード



中ノ郷音頭

その未来は、地球環境とともにある。

鳥取環境大学

鳥取県と鳥取市が設立した「公設民営方式」大学

入試区分	願書受付期間	試験日
一般入試A方式	1/7~1/25	2/2、3
一般入試B方式	2/1~2/18	2/27
一般入試C方式	2/25~3/7	3/14

〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北1-1-1
TEL:0857-38-6720 FAX:0857-38-6729
E-mail:nyushi@kankyo-u.ac.jp
URL:http://www.kankyo-u.ac.jp



環境情報学部
環境政策学科
環境デザイン学科
情報システム学科

各種奨学金・減免制度があります。
詳しくはお問い合わせ下さい。
※特待生制度
※準特待生制度
※日本学生支援機構奨学金
※鳥取県育英奨学金
※鳥取市入学奨励金（鳥取市より）
※授業料減免制度

団体旅行からハネムーンまで
日本の旅から世界の旅へ



株式会社 新日本観光センター

本社 鳥取市二階町3丁目206-3
(新日本観光ビル)
☎ (0857) 24-4175
鳥取支店 鳥取市扇町71番地 ビエントビル1F
(鳥取駅南ローソン隣)
☎ (0857) 27-1122

